

【入間市】の概要



心豊かでいられる、「未来の原風景」を創造し伝承する。

【特徴】市内には加治丘陵や狭山丘陵に加え、市域の約10分の1を占める茶畑が本市の豊かな緑を形成する一方で、近年は郊外型大規模店舗の出店も進み、伝統的な茶業を守りつつ、新たな商業施設や工業も発展を遂げ、バランスの取れた成長を続けています。

また、2022年度には「SDGs未来都市」にも選定され、「Well-being」をキーワードに、経済・社会・環境の三側面から持続可能なまちづくりの取組を進めています。

【課題】市指定文化財「旧黒須銀行」は深刻な老朽化が進んでおり、一刻も早い復元修理工事が必要ですが、工事や管理にかかる多額の財源の確保が課題となっています。

旧黒須銀行復元事業

明治時代の貴重な銀行建築を修理し当初の姿に復元します

分野 まちの魅力を活かす事業

概要 明治42年(1909)に建てられた入間市指定文化財「旧黒須銀行」を耐震補強の上、文化財的価値を継承・創建当初の姿に復元します。渋沢栄一が設立に関わり、「道德銀行」と呼ばれて地域の経済発展に寄与してきた銀行の建物を「つながり」「にぎわい」を創出する施設として整備、活用していきます。

事業効果 復元により文化財としての価値を次世代に継承できるとともに、耐震補強により歴史的建造物を安全安心に活用していくことができます。現在工事が進められており、完成は令和8年6月を予定しています。また、旧黒須銀行を一つの核として地域に「にぎわい」と「つながり」を生み出す「クロスプロジェクト」に取り組んでおり、工事完了後は建物の特色を生かした様々な活用を通して、地域の活性化につなげていきます。



大正9年(1920)頃の写真

- ・屋根は地元産の小谷田瓦
※現在は2階が赤い瓦になっている
- ・黒漆喰仕上げの重厚な外観
※現在は白い塗装が施されている
- ・鉄棒の格子、銅板貼りの用心戸
※戦時中の金属供出により現在は失われている



復元工事が進む旧黒須銀行



入間市 博物館文化財担当 電話：【04-2934-7711】
企画課ふるさと応援担当 電話：【04-2964-1111】内線3134
Mail：【ir113000@city.iruma.lg.jp】

